

親子で読んでほしい絵本大賞



今年も「親子で読んでほしい絵本大賞」が JPIC 読書アドバイザー 107人の投票で、10作品とベビー賞1作品に決まりました。選出のコメントは、おはなし会などの現場で実際に子どもたちに向けて絵本を読んでいるアドバイザーならではのものです。ぜひ、参考にしてください。また、編集部が候補作を厳選し、小誌読者のみなさんにも「読者賞」を投票いただきました。今回の読者賞は、3位と5位が同率となったため、あわせて6作品を発表いたします。

★コメントを寄せていただいた方の敬称略、順不同。 撮影/J・SAKURA

★ネコに舞い降りてくる小鳥のおしりの毛、1本1本まで愛らしい！この本は心にぽっかり穴があくってどんな気持ち？体がぎゅうっとあつくなるってどういふこと？を子どもたちに教えてくれます。幸せなため息とともに。

(23期 原田早苗)

★ネコと小鳥の交流を美しい細密画で描いた珠玉のファンタジー。コブシの枝を束ねるのが、ネコの仕事。その枝を1日1本もらいに来る小鳥。それぞれの心情を思いつつ、その裏に隠された物語の続きを待ちたい。

(15期 豊嶋さおり)

★すがすがしく美しい絵から、音やお日さまのにおい、花や草、小枝の香りまでしてくるようで、すんなりと絵本の世界に入りこめます。ネコと小鳥がお互いに心を通わせる姿から、親子でいろいろ感じとってほしいです。

(20期 菅 弥和乃)

★美しく繊細な色とりどりの花や、ネコの気持ちが痛いほどわかる表現、小鳥の家族のあたたかさなど、子どもと読んでいるときにいろいろと話が広がり、親子で気持ちを共有できる作品です。

(29期 江頭祐子)

★花が香り立つような美しい絵本。ネコと鳥の交流に心があたたかくなり、まさに親子で読んでほしいと思いました。そして少し大きくなったら小枝の意味にも気づいてほしい。長く愛される絵本になると思います。

(29期 佐々木広美)

★動物や野山の風景が綿密で美しく、飾っておきたくなります。あたたかな内容に、高校生にも人気でした。ネコと小鳥のように互いを思い、歩み寄ることの大事さ、幸せについて語り合える作品です。

(29期 形部雅世)

★緻密で美しい絵と、詩的な文章にひかれました。ネコと小鳥の関係がかわいらしく、ページをめくると小鳥のさえずりが聞こえ、豊かな香りがするようでした。読み終えたあと、親子であたたかい気持ちになれます。

(22期 みゆき)

★ネコと小鳥の関係に、読み終えたあと心がほっこり。さらに、美しい精緻な絵に見入ってしまいます。宝物になりそうな、まさしく親子で読んでほしい絵本です！

(25期 川瀬利恵)

★小鳥とネコの自然界での関係や、主人公のネコの背景など重たいことにはまったく触れず、教訓的でもない静かであたたかい作品です。争いの絶えない今だからこそ、ご家族で穏やかにこの絵本を囲んでほしいと思います。

(28期 大友美佐子)



親子で読んでほしい絵本大賞

発表



大賞

『ねことことり』

作/たてのひろし 絵/なかの真実
1,650円 (世界文化社)



親子で読んでほしい絵本大賞とは

親子でもっと絵本を楽しんでほしい！いい絵本を親子に届けたい！との思いを込めて、JPIC 読書アドバイザークラブ(JRAC)により創設されました。選出方法：JRAC 会員61人からなる選考委員が、「この本 読んで！」2023年春号～冬号の4号で紹介された新刊絵本400冊の中から大賞候補作12作品を選出。それを、JRAC 会員有志が読み、12作品の中から1～3位を選んで投票しました。

※ JPIC 読書アドバイザークラブについての詳しい説明は、P59下部に記載しています。



連動フェア実施!

この特集で紹介した絵本のコーナーが以下の書店に設けられます。くわしくは下記まで
こどもの本の店 ともたち
(神奈川県横浜市)
045-561-5815